

OHスケールは、

褥瘡になりやすい人か、なりにくい人かがわかり、対象者に合ったケアの方法に役立ちます。OHスケールは、対象者がどの程度の褥瘡発生危険度＝リスクを持っているか明確にする「ものさし」です。この「ものさし」をまとめた大浦武彦氏と堀田由浩氏のお二人の頭文字をとってOHスケールと呼ばれています。

尚、OHスケールのほか、ブレーデンスケールは有名なリスクアセスメントスケールの1つ。ブレーデンスケールは、「知覚の認知」「湿潤」「活動性」「可動性」「栄養状態」「摩擦とずれ」の6項目で構成されている。

OHスケール褥瘡危険要因点数表

OHスケールは、初めに、下記のOHスケール褥瘡要因点数表に示すように、対象者を4つの項目で評価し、点数化します(これをOHスコアと呼びます)。次に4項目のOHスコアを足して合計を算出。OHスコアの合計は、最高で10点、最小で0点になり、OHスコアは点数によって4つのランクに分かれ、それぞれのランクが持つ褥瘡発生リスクの程度をエビデンス(＝科学的根拠)によって明確にしています。

OHスケール褥瘡危険要因点数表

評価項目	判定			OHスコア
1.自力体位変換	できる/0点	どちらでもない/1.5点	できない/3点	点
2.病的骨突出(仙骨部)	なし/0点	軽・中程度/1.5点	高度/3点	点
3.浮腫(むくみ)	なし/0点		あり/3点	点
4.間接拘縮	なし/0点		あり/1点	点
	合 計			点

OHスコアレベルからの褥瘡発生危険度予測

OHスコアレベル		褥瘡発生確率	褥瘡平均治癒時間	耐圧分散マットレス
0点	危険要因なし	-	-	特に必要なし
0～3点	軽度レベル	約25%以下	40日	汎用タイプ
4～6点	中等度レベル	約26～65%	57日	高機能タイプ、場合により
7～10点	高度レベル	約66%以上	173日	自動体位変換マットレス

1.自力体位交換

OHスケール褥瘡危険要因点数表

評価項目	判定			OHスコア
1.自力体位変換	できる/0点	どちらでもない/1.5点	できない/3点	点
2.病的骨突出（仙骨部）	なし/0点	軽・中程度/1.5点	高度/3点	点
3.浮腫（むくみ）	なし/0点		あり/3点	点
4.間接拘縮	なし/0点		あり/1点	点
	合 計			点

■ 判定基準

出来ているし、実際にしている。	出来る
出来る時もあれば、出来ない時もある。	どちらでもない
自力ではムリ。出来ない。出来るのにしていない。	出来ない

- ・ベッドや車いすの上で、自力で動けない場合は「できない」、動ける場合は「できる」とします。それ以外は「どちらでもない」とする。
- ・評価に際しては、自力体位変換の出来ない原因(麻痺がある、薬剤による意識低下、脊椎損傷など)は考慮しないで判断する。
- ・普段は動けるが、時々動けなくなることがある場合などは「どちらでもない」とする。

2.病的骨突出

OHスケール褥瘡危険要因点数表

評価項目	判定			OHスコア
1.自力体位変換	できる/0点	どちらでもない/1.5点	できない/3点	点
2.病的骨突出（仙骨部）	なし/0点	軽・中程度/1.5点	高度/3点	点
3.浮腫（むくみ）	なし/0点	あり/3点		点
4.間接拘縮	なし/0点	あり/1点		点
	合 計			点

- ・対象者に側臥位になってもらい、お尻に定規を当て、お尻と仙骨の高低差を見る。
- ・仙骨部から左右に8cm離れたところの臀部がどのくらい低いかにによって3ランクにわけらる。

■ 判定基準…突出なし

定規と仙骨の間に隙間が空いていれば突出なしと評価。



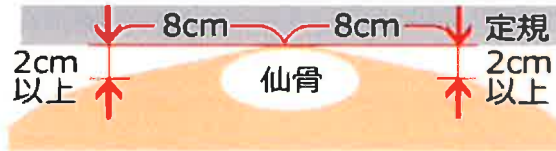
■ 判定基準…軽度

定規とお尻と仙骨がほとんど直線で定規に隙間がなければ軽度と評価。



■ 判定基準…高度

仙骨を支点にして定規がシーソー状態。8cm離れたところの隙間が2cm以上。

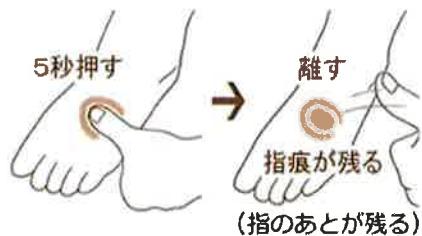


3.浮腫

OHスケール褥瘡危険要因点数表

評価項目	判定			OHスコア
1.自力体位変換	できる/0点	どちらでもない/1.5点	できない/3点	点
2.病的骨突出（仙骨部）	なし/0点	軽・中程度/1.5点	高度/3点	点
3.浮腫（むくみ）	なし/0点	あり/3点		点
4.間接拘縮	なし/0点	あり/1点		点
	合 計			点

■評価方法 例えば足の甲で…



■判定基準

指のあとがすぐ消える	浮腫なし
指のあとが なかなか消えない	浮腫あり

4.間接拘縮

OHスケール褥瘡危険要因点数表

評価項目	判定			OHスコア
1.自力体位変換	できる/0点	どちらでもない/1.5点	できない/3点	点
2.病的骨突出（仙骨部）	なし/0点	軽・中程度/1.5点	高度/3点	点
3.浮腫（むくみ）	なし/0点	あり/3点		点
4.間接拘縮	なし/0点	あり/1点		点
	合 計			点

■拘縮とは

動きが制限されている状態。

■評価方法

全身の関節の動きを確認する。

■判定基準

一力所でも拘縮があれば、あり
なければ、なしと評価。